

一般社団法人W I N D

第 2 9 回理事会（令和 4（2022）年度）

議 事 録

開催日時

令和 4（2022）年 4 月 1 6 日（土） 10：10 から 11：10

会 場

北海道大学大学院医学研究院会議室



一般社団法人WIND 第29回理事会

議事録

【 令和 4 (2022) 年 4 月 16 日 (土) 10:10 から 11:10 】

会場：北海道大学大学院医学研究院会議室

○出席者数確認【本日の出席理事数：18名】 定足数14名（理事数：27名）

会場出席数：0名 Web会議システム出席数：18名

幹事長から、定款第27条第2項に定める過半数の理事が出席されていることから、理事会として成立している旨宣言された。

幹事長は、開会に先立ち、Web会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

1. 開会の辞：金野幹事長

2. 議長（渡利代表理事）挨拶

3. 議題等

報告事項

（1）令和3年度総務報告

① 法人社員数報告（資料1）

幹事長から、資料1により施設社員数及び個人社員数について報告された。

【幹事長の報告内容】

・施設社員：30施設

施設社員は30施設となっています。施設社員の異動はありません。

公益財団法人北海道労働保健管理協会が5月又は6月に入社予定となっています。

・個人社員：171名

令和3年度からの繰越は163名で、令和4年度は8名の新規加入がありまして、個人社員は171名となっています。



② 事業報告 (資料 2)

幹事長から、実施済事業にアンダーラインを付していること及び中止となっている事業が多い旨説明された後、事業について個別に報告された。

【幹事長の報告内容】

実施済事業にアンダーラインを付していますが、コロナ禍において事業の中止が多くありました。

- ・ ハンズオンセミナー、国家試験慰労会、BLSOが中止となっています。
- ・ オンライン研修説明会を6月12日(土)、7月9日(金)の2回実施しました。
オンラインの良さで、遠方の関連施設の先生が参加できましたし、学生も参加しやすい面もありました。
- ・ WIND研修発表会は対面をギリギリまで考えたのですが、2月19日(水)にオンラインで開催しました。
- ・ WINDホームページとメーリングリストを利用した情報発信を継続しています。
- ・ 学会支援では第98回北海道産科婦人科学会学術講演会の開催を支援しています。
- ・ WIND総会は5月8日(土)に懇親会を中止しましてオンラインで開催しました。
同門会・WIND合同忘年会も12月18日(土)に懇親会を中止しましてオンラインで開催しました。
- ・ 教室百周年記念式典準備委員会は適宜開催しました。
式典は2023年10月7日(土)、会場は京王プラザホテルを予定しています。

【議長】事業が計画通りに行えていないところがありますが、リクルートの面では必ずしもネガティブには働いていない印象です。

(2) 令和3年度会計・決算報告 (資料3、資料4)

奥山会計担当理事から、資料3及び資料4により令和3年度会計・決算報告について報告があり、承認された。

【奥山会計担当理事の報告内容】

令和3年度のWIND会計・決算についてご説明いたします。

○会費収納状況報告

資料3の会費収納状況報告をご覧ください。施設社員は30施設、個人社員は169名から始まりまして最終的には166名となっています。社員数に基づいて計算した予算額が中段となっています。施設社員会費は18,000,000円、個人社員会費は10,010,000円、海外留学、産休などにより会費免除されている先生がいますので債権免除金額100,000円が発生してましてトータル27,910,000円の予算となっています。下段の会費収納状況ですが、施設社員からは18,000,000円全てが納入されています。個人社員が



らは 9,515,000 円が納入され、未納額が 395,000 円となっています。トータル 27,910,000 円で予算額と合っています。

次の頁は会費未納者のリストとなっておりまして、あまり公表したくないものですが令和元年度と令和 2 年度の合計で 210,000 円、今年度は 395,000 円で、トータルで今のところの未納額は 605,000 円となっています。事務局の努力により過去の未納が清算されています。

○予算実施状況報告

資料 4 の事項別収支報告書をご覧ください。

収入の部ですが、WIND 会費収入は会費収納状況で説明した 27,515,000 円となっています。雑収入は学会終了後に清算し返金されたお金が 228,662 円となっています。利子収入は 304 円となっています。資本金 3,000,000 円を含む前年度繰越額は 30,891,167 円となっておりまして、過年度会費未収金 210,000 円がありますので予算額と 210,000 円の違いがあります。収入の総計は 58,635,133 円となっておりまして前年度の 54,511,347 円から 400 万円程増えています。

支出の部の最初の事業費ですが、予算が 12,761,751 円と端数が発生しているのは遠隔健診基金等の 411,751 円が端数となっていることからです。実績は 5,788,765 円の支出となっています。内訳は、学生研修医費用、研修医リクルート関連、ホームページ関連、WEB 会議関連、遠隔健診基金等となっています。さすがに会議ができなかったものから学生研修医費用も 2,551,725 円となっています。今年度の特別なところとしまして、研修医リクルート関連の関連病院補助費に 2,734,273 円の支出がありますが、この内、関連病院ではこれまで勧誘費用を支出することが主だったのですが、コロナにより書籍や研修医が使用できるものの経費を支出することを可能としたトータルが 103 万円ほどあります。

補助費ですが、19,000,000 円を予定していたところ 4,362,938 円の支出となりました。内訳としては教室学術研究費の支出が少ない状況となっています。研究助成の 1,997,081 円は朝野先生、山崎先生、三田村先生への補助金、その他学会発表補助もありました。

会議費は、コロナの関係でほとんどがオンライン開催となりまして、総会並びに同門会・WIND 合同忘年会の経費は同門会と折半した金額となっています。予算額 2,000,000 円のところ 506,037 円の支出でした。

事務費は予算の 92% を支出し予算通りとなっています。慶弔・福利厚生費の支出はありませんでした。租税公課は 140,600 円の支出となっています。

予備費は 886,170 円の支出となっておりまして、蝦名・森川先生の祝賀会の経費も含まれています。

以上、当期の支出総額は 21,274,801 円となっています。

○損益計算書

次の頁の損益計算書と貸借対照表で決算報告のバランスについて説明いたします。

最初に損益計算書です。

会費収入は収納状況報告のとおり 27,910,000 円、事業活動費用は先ほど説明しました



21, 274, 801 円の支出でしたので、事業活動収支計は差引 6, 635, 199 円となります。

事業外収入の受取利息 304 円と雑収入 228, 662 円に、事業活動収支計を加えました 6, 864, 165 円が経常収支差額となりまして、今年度の黒字となります。

この他に法人税及び住民税がありますので、実際に来年度に繰り越される金額は当期収支差額 6, 864, 165 円となります。

○貸借対照表

続いて左側の貸借対照表を説明します。

資産の部ですが、流動資産は全てお金となっています。現金及び預金は 36, 188, 562 円、本年度分と前年度までの未収会費が 605, 000 円、関連病院に勧誘補助費の使用後の残額を預かって頂いているお金が 1, 404, 770 円あります。固定資産、繰延資産はありませんので、資産合計は 38, 198, 332 円となっています。

負債の部ですが、早急に回収しなければならない流動負債は、預かり金 160, 000 円、未払い法人税 70, 000 円、前年度からの預り金（会費納入の端数）3, 000 円で合計 233, 000 円が流動負債となっています。

正味財産は、基金は資本金の 3, 000, 000 円となります。昨年度からの繰り越し前期繰越収支差額 28, 101, 167 円に当期収支差額 6, 864, 165 円を加えた 34, 965, 332 円が次期繰越収支差額になります。さらに資本金の 3, 000, 000 円を加えた計 37, 965, 332 円が正味財産合計となっています。それに流動負債は支払っていませんので、手元にあります流動負債と正味財産合計を合わせました 38, 198, 332 円が先ほどの資産合計と一致しています。

○財産目録

財産目録はどのような資産を持っているかの資料ですが、資産は現金と預金となっています。

○合計残高試算表

合計残高試算表は、どの費用項目にどれくらい支出したかがわかる資料となっています。なお、一番下の大きな数字の 59, 473, 133 円ですが、元々あったお金と会費を合わせた数字になります。これは WIND として動かしている数字になり、事業の規模を示していると思って頂ければと思います。

以上、令和 3 年度の会計報告と致します。

なお、事業がなかなか思うようにできないのでまた黒字になっています。

【議長】奥山先生ありがとうございました。

教室学術研究費の支出が少ないとのご指摘がありましたが、これには大学の事情によるものです。WIND からの助成を頂きたかったのですが、令和 3 年度内に使い切らなければならない大学の研究費から優先的に支出したことで、結果として教室学術研究費からの支出が少なくなったものです。また、勧誘費の関連施設での使用状況ですが、直接的な勧誘に使用することは難しいかもしれませんが、コア科でお世話になる 5 年生の学生には、今後のコロナの状況によりますが積極的に活用して頂きたいのと、使用範囲を広義に解釈して頂いて教育に使用する教育資材を購入することは良いと思いますので、積極



的に活用して頂きたいと思っています。

(3) その他

① 4月人事報告 (資料5)

幹事長から、資料5により4月の人事報告について報告がされた。

【幹事長の報告内容】

全体で36名の先生の異動がありましたのでご参照ください。

なお、4月以前の月の異動もありますので、今後は前回理事会以降の異動を報告したいと思います。総会には変更した資料といたします。

議 題

第1号議案：理事の選任の件 (資料6)

議長から、本年度は理事の改選期に当たることから理事候補者及び選任区分と役職の変更について資料6のとおり諮られ、承認された。

【議長の発言内容】

○理事候補者について

理事の選任について、令和2年度に理事と監事の改選を行い、理事の任期は2年で今年度が改選期となります。なお、監事の任期は4年で改選期は令和6年度となります。

資料に基づいてご説明いたします。

・新任の理事候補者について

- ・学術担当理事のKKR札幌医療センターを退職された涌井之雄先生の後任としてKKR札幌医療センターの西信也先生にお願いしたいと考えています。
- ・学術担当理事に、北海道がんセンターの見延進一郎先生に選任区分をセンター教育病院として新たに理事にお願いしたいと考えています。
- ・学術担当理事の砂川市立病院を退職された津田加都哉先生の後任として、砂川市立病院の山下陽一郎先生にお願いしたいと考えています。
- ・若手医師代表理事の櫻井愛美先生の後任として良川大晃先生にお願いします。櫻井先生の役職は研修担当でしたが、良川先生にはWINDのホームページを担当して頂いていますので、広報・渉外を担当して頂きたいと思います。

・理事候補者の選任区分と役職の変更について

- ・会計担当理事の市立札幌病院の平山恵美先生の選任区分を女性医師からセンター教育病院に変更させて頂きたいと思います。
- ・広報・渉外担当の小林範子先生を会計担当に変更させて頂きたいと思います。



- ・ 学術担当の釧路赤十字病院の東正樹先生を広報・渉外担当の常任理事に変更させていただきます。
- ・ 学術担当の北海道がんセンターの藤堂幸治先生を広報・渉外担当に変更させていただきます。

以上が、新たに理事候補者になられた先生方と、選任区分と役職の変更です。
この 23 名についてご承認頂けますでしょうか。

○代表理事選任

本来であれば、総会で理事が選任され、その理事の互選で代表理事が選任されることになります。今までもそうでしたが、その総会に先駆けて、ただいまご提案しました 23 名の理事候補の先生の中から代表理事を決めていただきたいと思います。

通例どおり自薦他薦で候補者を選出したいと思いますが、如何でしょうか。

自薦他薦おられませんか。

もしないようでしたら、私が引き続き代表理事に立候補させていただきたいと思います。信任につきまして、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。引き続き 2 年間、皆様のご協力を頂きながら進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、今年度の総会の日程については、後ほどご審議して頂きますが、オンラインで開催したいと考えております。総会で理事選任が承認された後、臨時理事会をオンラインで開催し、代表理事の選任の承認をさせていただきますので、理事の先生には申し訳ありませんが、定足数の関係から総会へのご参加を是非お願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○代表理事推薦の理事

代表理事推薦の理事について、大久保先生、小林先生を再任させたいと思います。また、奥山先生、加藤先生の選任区分をセンター教育病院から代表理事推薦へ変更させていただきます。

については、この 4 名についてご承認頂けますでしょうか。

なお、今年 3 月末で釧路赤十字病院長を退任した山口辰美先生から、現在の理事の任期満了をもって退任したい旨のお話がありましたので、今回は推薦を見合わせました。

女性理事の割合については理事総数の 10% 以上と決まっていますが、理事 27 名中女性理事 4 名で割合が約 15% 程度となっていますので規定をクリアしていることになります。

第 2 号議案：幹事長選任の件 (資料 7)

議長から、幹事長候補者として金野陽輔先生の再任について諮られ、承認された。



【議長の発言内容】

幹事長候補者としまして立候補者はなく、金野陽輔先生 4 票、齋藤良玄先生 1 票、千葉健太郎先生 1 票の推薦がありました。推薦を受諾した金野陽輔先生の再任について信任投票を行いました。結果、有効投票数 108 票のうち信任 107 票で、金野陽輔先生が幹事長として再任されましたので、この理事会でご承認いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは金野幹事長挨拶をお願いいたします。

第 3 号議案：令和 4 年度事業計画 (資料 8、資料 8-2)

幹事長から資料 8 により令和 4 年度事業計画について説明があった後、議長から令和 4 年度事業計画について諮られ、承認された。

また、幹事長から資料 8-2 により学会参加費補助について説明があった後、議長から学会参加費補助について諮られ、承認された。

【幹事長の説明内容】

基本は例年通りの計画としていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により未定となっている計画もあります。資料に基づきポイントを説明します。

○ハンズオンセミナー

一応、6 月 18 日（土）、19 日（日）に登別第一滝本館を会場に実施を予定しています。多分泊りの研修会は難しいと考えていますので、どこかの段階でキャンセルになるかと思っています。宿泊ではない研修はできると思いますので、北大シュミュレーションセンターを使用しての開催も検討しています。

研修説明会は基本的にオンラインでの開催になると思います。

○情報発信

WIND ホームページ、メーリングリストを利用した情報発信を継続します。

ホームページの更新が滞っていましたので積極的にやっていきたいと思っています。

○学会支援

- ・ 令和 4 年度の BLS0 は、浦河町からの計画の要望がありましたので開催予定ですが、日程未定です。
- ・ 北海道周産期談話会を 7 月 2 日（土）に札幌医大記念ホールで開催します。
- ・ 第 11 回北海道産婦人科乳腺医学会を 10 月 23 日（土）に WEB で開催します。
- ・ 第 52 回北海道母性衛生学会を 10 月 29 日（土）に北大学術交流会館で開催します。
大阪大学産婦人科の木村正教授をお招きすると聞いています。

○その他

- ・ WIND 総会は 5 号議案で審議いたします。
- ・ 合同忘年会は、現時点では実施の方向とさせていただきます。
- ・ 教室の百周年記念式典準備委員会は継続して行います。



○学会参加費補助について

資料 8-2 により説明します。

新型コロナの感染症の影響により、WIND 事業の多くが中止となり予算執行が減少しています。予算に余裕があるため令和 3 年度に個人会員の先生に学会に積極的に参加して頂くことを目的として、個人会員の学会参加費について 2 万円を上限に WIND から補助することを承認頂きまして令和 3 年度に行いました。

令和 3 年度は 24 名からの申請者で 468,000 円の補助を行いました。結果として想定よりかなり少ない申請にとどまっております。周知のアナウンスを 4 月と 5 月の 2 回行いましたが、その後の周知が十分でなかったことがありましたので、年度末にも行えばよかったと思っています。

この学会参加費補助の継続については理事会で検討することになっていました。今年度についても継続して個人会員の先生の学会への積極的な学会参加の支援を実施したいと考えていますので、ご承認をお願いいたします。

なお、令和 3 年度に学会参加費補助を申請されていない先生で、参加費の領収書を持っていたら今年度に申請することを特例として認めたいと思います。締め切りが延長されるということです。よろしくお願いいたします。

申請期限は事務局のいい時期にしたいと思います。

第 4 号議案：令和 3 年度予算案について (資料 9)

奥山会計担当理事から資料 9 により令和 4 年度予算案について説明があった後、議長から令和 4 年度予算案について諮られ、承認された。

【奥山会計担当理事の説明内容】

令和 4 年度の WIND 予算案について説明申し上げます。

資料 9 をご覧下さい。

・収入の部

収入の部ですが、ウィンド会費は 28,810,000 円で、内訳は、5,000 円×12 ヶ月×個人社員数 171 名、600,000 円×施設社員数 30 施設となっています。施設社員に 1 施設が 5 月から加入して頂けるかもしれないとのことで 550,000 円を計上しましたが、加入時期により金額の変更又は加入を取りやめたことによりこの金額が無くなることをご了承願います。

雑収入は、カードのポイントを交換するなどで 10,000 円としています。昨年度は学会からの返金がありましたが今年度は不明のため 10,000 円としています。前年度繰越額 37,965,332 円ですので端数を合わせるために利子を 668 円としています。今年度のトータルの予算案として 66,786,000 円となっています。

・支出の部

支出の部ですが、事業費は昨年度と同じ 12,350,000 円とさせて頂きました。内容としましては昨年度と同じで備考欄に記載してあるとおりですのでご参照願います。



昨年度まで予算としてありました遠隔健診基金等は研究が終了しましたので項目として廃止させて頂きました。残額の261,096円については予備費に繰り入れています。

補助費は昨年度と同額の 19,000,000 円を計上させて頂いています。

会議費も昨年度と同額の 2,000,000 円を計上させて頂いています、

事務費は、業務委託費が8,000,000円で昨年度から400,000円の減額となっています。これは勤務時間を一部短縮することによる経費の削減となっています。

慶弔・福利厚生費、交際費、租税公費についての変更はありません。

予備費ですが、百周年記念式典の準備金として1500万円を確保しています。あと資本金300万円、先ほどご説明しました遠隔健診基金等からの繰り入金261,096円でトータルとして22,346,000円としています。実質の予備費としては百周年記念式典の準備金1500万円がありますので600万円程度となります。

今年度の予算は66,786,000円となります。以上です。

第5号議案：その他

①ウクライナ危機下の義援金について (資料10、資料10-2)

議長から、日本産科婦人科学会から依頼のあったウクライナ危機下の義援金について説明があった後、義援金額20万円、寄附の名称を一般社団法人WIND（北海道大学産婦人科）として寄附すること及び理事会の承認をもって期限までに義援金を振込み理事会の内容を会員にメールで周知することが諮られ、承認された。

また、資料10-2により今後のWINDとしての寄附について諮られ、承認された。

【議長の発言内容】

資料10にありますように日本産科婦人科学会理事長、渉外委員会委員長の連名で依頼がありました。

今回の義援金については、皆様のご承認が得られましたらWINDとして寄附したいと考えていますのでご審議をお願いしたいと思っています。具体的な内容としましては、WINDからの義援金額20万円、寄附の名称を一般社団法人WIND（北海道大学産婦人科）として寄附したいと考えています。

ご承認いただいた義援金については、総会での承認が必要と考えていますが、義援金の期限が4月25日(月)となっていますので、総会を待っていますと期限を逸してしまいますので、本日の理事会の承認をもって期限までに義援金を振込み、理事会の内容を会員の皆様に通信でお知らせしまして、5月7日開催の総会では事後になりますが承認頂くことにしたいと思いますのでご承認をお願いしたいと思います。

今回の寄附についてお認め頂いてありがとうございます。

今後、このような依頼を含めたWINDとしての寄附をどのように行うかについて、少しご審議頂きたいと思っています。



WINDとしての寄附については、平成28年11月開催の第18回理事会において、その年8月の台風による北海道豪雨被害に対してWINDとして寄付することが了承されました。結局、寄附の時機を逸してしまったことと、適切な寄附先が見当たらなかったこと等から、結果として寄附を見送っています。

その際に、今後の災害等も含めてWINDとしての寄附をどのように行うかを審議頂いた経過があります。結果、今後、WINDとして寄附する場合には、代表理事と執行部で金額及び寄付先等を決定・実施し、寄附内容をメールで理事の事後承認を頂く形で進めることが確認されています。

この審議内容を含めて資料10-2の記載のような取り決めにしたいと思っております。なお、第18回理事会内の意見では「WINDとしての総意が得られるのであれば、個人の寄附を妨げるものではないが、個人の寄附の有無にかかわらずWINDとして寄附する。」「必要であれば会計担当理事とで話し合って妥当な金額を寄付する。」「幹事長が被害の状況、WINDとの関わり等を考えてタイムリーに実施し、後で理事会にて追認して頂くこととするのはいかがか」などがありました。

このような意見を含みまして、WINDとして寄附する場合の形を資料10-2にお示ししていますのでのご意見をお願いします。

金額はその時の状況によって決めなければならないと思いますので、一律にはならないと思います、原則的にはそのときの状況を考えて迅速に対応していかなければならないと思っていますので、このような形でよろしければ進めさせて頂きたいと思っています。

ご了承を頂きましたので、今後このような形で進めさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

②今年度総会及び来年度総会について

幹事長から、今年度の総会の日程を5月7日(土)開催の同門会臨床セミナー前の13時から開催すること及び来年度の総会については札幌で開催することの説明があった後、議長から今年度の総会の日程及び来年度の総会について諮られ、承認された。

【幹事長の説明内容】

今年度の総会の日程については、前回理事会では日程が未定となっていました。

今年度の総会は、昨年度と同様に5月7日(土)開催の同門会臨床セミナーと同日に開催したいと考えています。同門会はオンラインで開催しますので、総会についてもその前にオンラインで開催します。

また、議決の定足数の関係がありますので、これまでどおり欠席される先生からは委任状の提出をお願いします。

開始時間は、同門会臨床セミナー前の13時からを予定しています。

なお、懇親会は中止といたします。

代表理事選任の際にもお願いしましたが、総会で理事選任が承認された後、臨時理事会をオンラインで開催し、代表理事の選任の承認をさせて頂きますので、理事の先生にはご参加をお願い致します。

ご審議お願いいたします。



来年度の総会については、毎年札幌での開催とする方針を認めて頂いていますので、来年度皆さんが集まる形式での開催となった場合には札幌で総会を開催いたします。

同門会との関係については今後の相談となります。

【議長】可能であれば総会についてはお集まりいただきと考えていますので、よろしくお願いします。同門会セミナーの特別講演では東京大学の大須賀先生にお願いしていますので、出来れば多くの先生にご参加をお願いいたします。

【幹事長の説明内容】

大須賀先生が現地に入られるので、新人の専攻医の先生には会場に来て頂くようにお声がけを開始しています。所属施設の先生にはご配慮を頂きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

4. その他

①理事会の開催形式について

議長から、集まって開催していた理事会が新型コロナの感染拡大によりオンラインにより開催していることから今後の理事会の開催形式について諮られ、春と秋の理事会については原則オンラインによる開催とすることが承認された。

【議長の発言内容】

議長から、総会についてはできれば対面での開催を検討したいと思っていますが、理事会については新型コロナの感染拡大により2019年4月からオンラインにより開催しまして今回で5回目となります。それまでは集まって頂いて理事会を開催していましたが、オンラインでの開催も皆さん慣れてきましたし、顔を合わせて話をするのもいい面も勿論あります。皆さんにお忙しい中で理事会のために札幌に来て頂くのも大変な面もあると思いますので、それを含めて理事会の開催形式についてご意見を頂きたいと思えます。

実際にお会いすることは大事だと思いますが、皆さんの日々のお忙しさを考えますとオンラインでも十分開催できることを実感しています。もし皆さんご異論が無いようでしたら理事会に関しましては、原則オンラインでの開催と決めるかは別ですが、オンライン開催でもいいのではないかと考えています。

春と秋の理事会を原則オンライン開催としてよろしいでしょうか、多分皆さんもオンライン開催の方がスムーズでいいと思います。

意見が無いようでしたら春と秋の理事会を原則オンラインでの開催とさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

【幹事長】札幌に来るのは大変だと思います。定足数のギリギリの問題があったので



すが、オンライン開催ではその懸念が無くなった良さがあります。

【幹事長】春と秋の理事会はオンライン開催で、顔合わせみたいなものは総会としてはどうか

②次回理事会開催日

議長から、次回理事会開催日を今年 11 月 3 日（木・祝日）10 時から予定し、予備日を 11 月 19 日（土）としている旨発言があった。

③その他

【議長】来年度の専攻医の状況について伺いたいので、関連施設の先生から報告があればお願いしたい。大学の状況を井平先生からお願いします。

【井平先生】少なくない数の方がいらっしゃいます。5 月の中旬に日産婦の 2 年目のセミナーがありますが、複数名が参加してくれています。まだ数を読んでいませんが 3 年連続で良い感じなのかと思っています。

【議長】他に情報はありますか、コンスタントに産婦人科医になって頂く人を増やすことは、今後の継続的な診療の維持、北海道の医療レベルを下げない意味でも重要なことですので、皆さんと一緒に産婦人科医の確保に努めていきたいと思っていますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

5. 閉会の辞

以上を以て、Web 会議システムを用いた第 29 回理事会（令和 4 年度）の終始異状なく議案全部の審議を終了し、11 時 10 分議長が閉会を宣し散会した。

上記議事の経過、要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議長及び出席監事は次に記名押印する。

令和 4 年 7 月 26 日

一般社団法人 WIND 第 29 回理事会

議 長 代表理事 渡利 英道

議事録署名人 監 事 佐藤 博

監 事 津村 宣彦

第 29 回理事会出欠者名簿

出席者 理事 18 名 監事 2 名
 欠席者 理事 9 名

出席者	代表理事	渡利 英道	(Web 参加)
		工藤 正尊	(Web 参加)
		蝦名 康彦	(Web 参加)
		山田 俊	(Web 参加)
		奥山 和彦	(Web 参加)
		平山 恵美	(Web 参加)
		加藤 秀則	(Web 参加)
		涌井 之雄	(Web 参加)
		金内 優典	(Web 参加)
		勘野 真紀	(Web 参加)
		和田真一郎	(Web 参加)
		香城 恒磨	(Web 参加)
		光部兼六郎	(Web 参加)
		片岡 宙門	(Web 参加)
		玉城 良	(Web 参加)
		藤枝 聡子	(Web 参加)
		藤本 俊郎	(Web 参加)
		小林 範子	(Web 参加)
		監事	佐藤 博
	津村 宣彦		(Web 参加)

欠席者	理事	大久保 仁
		東 正樹
		藤堂 幸治
		津田加都哉
		長 和俊
		服部 理史
		櫻井 愛美
		山口 辰美
		鈴木 賀博